玖島魂

故郷ひらき
世をひらく

学校HP

大村市立玖島中学校
学校だより　第３２号
Ｒ７．３．２４発行
文責：校長　大場祥一

修了式・離任式を行い、今年度を締めくくりました。②

3/24（月）修了式　　一年間を振り返って　　2年　杉見　遊

2年生は3学期を通して2つの成長がありました。

1つ目は「団結力が高まった」ということです。2年生は1年間、総合的な学習の時間に起業体験学習に取り組んできました。その成果を発表する「くしマルシェ」が1月に行われ、各会社が商品を販売しました。当日は会社関係なく、全ての商品を売り切ろうという気持ちがみんなの顔に出ていて、その結果、全ての会社で利益を出すことができました。商品の開発や販売まで大変なことがたくさんありましたが、みんなで力を合わせて乗りこえることができ、学年として団結力が高まったと感じています。僕自身は、この活動を通して「人は人に支えてもらえないと何もうまくいかない」ということを学びました。僕は会社の社長を務めましたが、一緒に仕事をしてくれた社員、好意で支えてくれた人、応援してくれた人がたくさんいてくれたことで、力をもらい、頑張ることができました。

2つ目は、「3年生になる自覚が見え始めた」ということです。3年生を送るにあたって、卒業式の準備や片付けをしたり、掲示物の作成をしたり、身だしなみを整えたりしました。また、生徒会が新体制となり、2年生が中心となって活動しています。先日はスローガンも発表されました。そのような中で、それまでの自分を振り返り、言動に気をつける人が増えたのではないかと思います。このようなところに、もうすぐ3年生になるという自覚が見えてきたと感じています。

一方で課題もあります。学年全体でルールやマナーを守る意識がまだ低いということです。それを感じるところは2つあります。

1つ目は「私語が多い」ということです。授業や集会など、場をわきまえずに、不必要な発言や幼稚な発言をする人がいます。そして、そういった発言に反応する人がいます。また、大声や奇声も目立ちました。

2つ目は「時間を見て行動できていない」ことです。入室、着席、黙想がきちんとできない人がいます。総務が呼びかけをしても、話し続けたり座らなかったりする人がいて、授業が数分遅れることがありました。朝の入室遅れも2年生が多かったです。これらの課題に一人一人が意識を高めて向き合っていくことが、3年生になるにあたって必要です。これを克服することができれば、もうすでに元気があって団結できている学年がさらによくなると思います。

最後に僕自身が頑張りたいことは、毎日後悔のないように過ごすことです。そのために、時間の使い方を大切にしたいです。しなければならないこととしたいことをリストアップしたり整理したりすることで、物忘れをなくし、時間を有効活用しながら目標とする進路に向かって頑張っていきたいです。

3/24（月）修了式　　一年間を振り返って　生徒会代表　　1年　吉本　一貴

3学期が終わり、今の学年で過ごす最後の日となりました。みなさんにとって3学期はどのようなものでしたか？

私は今年度の一月から生徒会副会長を務め、1,2学期とは全く違う慣れない環境でしたが、先輩方や先生方に支えられながら活動することができました。生徒会として活動していく中で、「これまでたくさんの人に支えられてきたんだな」と感じるようになりました。だから、次は自分たちが支える側になり、学校をさらに良くして行きたいと思います。

次の学年に上がるにあたって、生徒全員で意識していってほしいことは、時間を守ることです。3学期は、3分前入室2分前着席1分前黙想ができていないときが多く、先生に言われてから動いたり、チャイムが鳴ってから気づくという人が多くいました。だから、4月からは、玖島中学校生徒の全員が時間を意識して行動することを心がけていき、改善につなげていきたいです。

3年生が卒業し、いよいよ自分たち在校生が学校を引っ張っていく番となりました。この3学期は今の学年で過ごす最後の学期であるとともに、次の学年への準備の期間でした。準備ができている人もいれば、できていない人もいるのではないでしょうか。春休みの内に準備を整えて新たな気持ちで次の学年をスタートできるようにしましょう。

春休みが終わる頃には4月になっており、そこから新しい学年がスタートします。1年生は2年生へ、2年生は3年生になり、それぞれ新しい仲間や先生、後輩たちとともに、これまでとはまた少し違った一年間を過ごすことになると思います。卒業した3年生から受け継いだこの玖島中学校をより良くしていくために在校生として意識し、楽しい中学校生活を送りましょう。

お世話になりました。◇転出職員の紹介◇

本校へのご理解とご支援、1年間ありがとうございました。

職　名	氏　名	教科	赴　任　先　等	職　名	氏　名	教科	赴　任　先　等
校　長	大場　祥一		退職(長崎大学教育学部 教授)	教　諭	竹上　正	社会	大村市立郡中学校
教　諭	林田　翔太	理科	五島市立玉之浦中学校	教　諭	徳永　佳代	音楽	大村市立郡中学校
教　諭	荒木　雄二	英語	退職	講　師	毎熊　祐太	数学	佐世保市立柚木中学校
講　師	田川　悦子	音楽	大村市立大村中学校	養護助教諭	中村　梨紗		諫早市立諫早中学校
事務主幹	松尾　幸治		大村市立旭が丘小学校	学校栄養職員	岩永かおり		県立虹の原特別支援学校
補助員	柳　実穂		退職	相談員	本村　桂		退職

「ものにする　ものを言う　ものに成る」の学校教育目標を念頭に、生徒たちと共に歩み、全力、懸命に教育活動に取り組んで参りました。万全の指導ばかりではありませんでしたが、保護者、地域の皆様のお力添えをもちまして、子どもたちそれぞれ、間違いなく成長しています。このことは、日常の授業をはじめとした各種行事や部活動等に現れ、実感と共に玖島の姿として目の当たりにされていると思います。本校の教育にお寄せいただきましたご理解とご協力に、心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

伝統ある玖島中学校の生徒たちが、一度きりの人生、その力を発揮するため、校歌の3番にある「故郷ひらき　世をひらく」という「玖島魂」をその決意として心に秘め、自らの判断で生き、自らの考えを声に出し、周りの人と折り合いを付けながらより良く生き、自らが描く夢や目標を実現することを大いに応援し期待しています。